

平成 15 年第 4 回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

## 1 ごみ処理の広域化に係る処理施設建設候補地について

まず初めに、ごみ処理の広域化に係る処理施設建設候補地についてであります。道央地域ごみ処理広域化推進協議会が本年度実施している、ごみ処理施設適地選定調査の中間報告では、ごみ処理施設建設候補地として、2市3町からの運搬効率、一定規模以上の用地確保の可能性、運搬車両の搬入バランス、さらに社会基盤整備の状況などから、恵庭市北部、特に北島地区が候補対象地域として優位性が高いとされたところであります。

11月18日に開催された協議会では、ごみ処理施設建設候補地が議題とされ、ごみ処理施設適地選定調査の中間報告と、恵庭市が実施した北島地区における事前の住民説明会において、「住民の一定の理解が得られた」との報告があり、協議会はこれらを踏まえ、恵庭市北島地区が適地であるとの共通認識のもと、協議会主催による住民説明会の状況も見ながら、恵庭市に決断をお願いすることとしたところであります。

また、11月21日には、恵庭市恵み野において協議会主催の住民説明会が開催され、ごみ処理施設建設候補地として北島地区が適地であることについて、一定の理解をいただいたところであります。

これらのことから協議会では、今後、恵庭市北島地区において環境影響調査をはじめ各種調査等を実施し、施設の安全性や周辺への影響などについて検討を加え、ごみ処理施設建設地の最終判断をすることといたしております。

## 2 次世代育成支援に関する行動計画の策定について

次に、次世代育成支援に関する行動計画の策定についてであります。本年7月に次世代育成支援対策推進法が施行され、国・地方公共団体・企業等が一体となって、次世代育成支援を進め、家庭や地域社会における「子育て機能の再生」を図ることとされたところであります。

これに伴い、市町村は、国が定めた行動計画策定指針に即して5年ごとに、地域における子

育て支援などのための目標とそれを達成するための行動計画を平成 16 年度中に策定することとされております。

策定に当たっては、地域住民の意見の反映が求められることから、今年度、次世代育成支援に関するニーズ調査として児童の保護者等の意向把握を行うため、今定例会に関連する補正予算を提案しているところであります。なお、行動計画は、地域福祉計画と一体的な計画として策定されるため、今後、地域福祉計画策定懇談会においてご議論をいただき、平成 16 年度中の策定を目指し作業を進めてまいりたいと考えております。

### 3 高規格救急車の導入について

次に、高規格救急車の導入についてであります。消防署大曲出張所に新たに高規格救急車の導入計画を進めておりましたが、11 月 7 日に車両が納入され、運用を開始したところであります。

このことにより、本市においては 2 台の高規格救急車が常備され市内全域のカバーが可能となり、交通事故や急病などでの重篤救急事案に係る救命率の向上など、救急体制の高度化が図られたところであります。

以上申し上げまして、行政報告といたします。